

授業科目 福祉用具Ⅴ

【担当教員名】 大鍋 寿一、高橋 義信、三村 宣治	対象学年	4	対象学科	義肢
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【概要】

本科目では2つのテーマを扱う。これらのうち1つは介護ロボットに代表される「福祉ロボット」であり、また、他方は福祉用具・機器に関連する「規格化、標準化」である。

【行動目標：SB0】

1. 福祉ロボットのニーズ、実用例、現状における課題と今後の発展性について説明できる。
2. 福祉用具・機器に求められる安全性、規格化、標準化について概略を説明できる。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	概論：福祉ロボット、福祉機器の規格と標準化		担当：大鍋 寿一
2	ロボットとは何か		担当：三村 宣治
3	福祉ロボットの基礎		担当：三村 宣治
4	福祉ロボットのニーズ		担当：三村 宣治
5	福祉ロボットの現状と課題		担当：三村 宣治
6	代表的福祉ロボットの仕組み		担当：三村 宣治
7	福祉ロボット使用性評価		担当：三村 宣治
8	まとめ/試験		担当：三村 宣治
9	標準化と規格概要		担当：高橋 義信
10	福祉用具のISOおよびJIS規格		担当：高橋 義信
11	国内および海外の福祉用具試験評価の現状		担当：高橋 義信
12	福祉用具の変遷		担当：高橋 義信
13	福祉用具開発の要点と事故事例		担当：高橋 義信
14	福祉用具設計演習		担当：高橋 義信
15	福祉用具産業と研究の動向		担当：高橋 義信

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	ロボット	新井健生	ナツメ社	2006・1,350円
	メカトロニクス	三浦宏文	オーム社	1997
	Introduction To Rehabilitation Engineering and Assistive Technology	R. Coope、H. Ohnabe、D. A. Hobson	Taylor & Francis	2006
その他の資料	板書、プリント、Power Pointを使用する。			
【評価方法】 レポート、筆記試験、学習態度により総合的に評価する。		【履修上の留意点】 積極的な姿勢を求める。		